

市民環境部環境政策課

1 米子市環境マネジメントシステム（ISO14001）構築

本市事務事業による地域の環境や地球環境に与える負荷を可能な限り低減するために、本市の本庁を対象に環境マネジメントシステム（ISO14001）を構築し、平成16年度中に認証取得を受けるための準備を実施した。

○平成15年度における主な取組状況

年 月 日	内 容
15年 8月20日	ISO14001の認証取得範囲を市役所本庁舎に決定
15年 9月25日	キックオフ宣言
15年 9月25日	ISO14001認証取得にかかる特別職員及び管理職員研修
15年10月15日 ～16日	ISO14001認証取得に向けたシステム構築前の管理職員研修（2回に分けて実施）
15年10月15日 ～29日	ISO14001認証取得に向けたシステム構築前の一般職員研修（全職員を対象に9回に分けて実施）
15年10月23日	ISO14001認証取得に向けたシステム構築前の特別職員研修
15年11月 6日	ISO14001認証取得に向けた環境側面の抽出・環境影響評価等の実務研修（各課から1名の係長級職員を対象に実施）
15年11月21日	ISO14001認証取得に向けた法規制調査の実務研修（各課から1名の係長級職員を対象に実施）
15年12月15日	ISO14001認証取得に向けたシステム構築前の一般職員研修（システム構築前研修の未受講者を対象とした研修）
16年 1月15日	環境方針制定

2 米子市快適な生活環境の確保に関する条例の施行

米子市環境基本条例に定める環境施策の基本方針の「市民の健康の保護及快適な生活環境の確保」を図る目的で、市民の共有財産である公共施設等を快適に使用できるよう公共施設等に対する落書き及び放置自動車の対策の一環とした罰則付の条例を議員提案で平成14年12月25日に制定し、平成15年8月1日から施行した。

3 米子市環境審議会及び米子市環境問題を考える懇話会の開催

環境の保全及び創造に関する基本的な事項を調査審査するために、米子市環境審議会を設置している。また、今後策定する「米子市環境基本計画」策定等に市民等の意見を聞くために米子市環境問題を考える懇話会を設置しているが、平成15年度には懸案事項がなかったため会議の開催は行わなかった。

4 公害防止対策

(1) 水 質

加茂川（深浦、美吉、前田橋）、法勝寺川（大袋、戸上）、小松谷川（青木）

定点測定 6か所、6回 延36回 大沢川8回、野本川4回、精進川4回

(2) 悪 臭

ア 事業場の悪臭採取 年22回

イ 事業場数 8か所

*測定については下水道部施設課環境検査室

5 騒音規制法・振動規制法に基づく届出数

(1) 特定施設に関するもの

- ・ 騒音 (設置届、変更届等を含む。) 2件
- ・ 振動 (") 0件

(2) 特定建設作業に関するもの

- ・ 騒音 10件
- ・ 振動 4件

6 県公害防止条例に基づく届出数

- ・ 騒音関係特定施設(設置届、変更届等を含む。) 0件(新設0件、変更0件)

7 苦情処理件数等

(1) 苦情の受理及び処理状況

苦情の種類		大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地盤沈下	電波障害	不法投棄	害虫発生	その他	合計
取扱件数	受理	19	11	16	3	13				8	5	45	120
	処理	19	11	16	3	13				8	5	45	120

(2) 土地等の適正管理指導 指導件数 25件

(3) 油流出事故対応 対応件数 10件

8 主な環境保全事業

(1) 中海水質汚濁状況の調査研究委託

委託先 米子工業高等専門学校 物質工学科

(2) 中海水質汚濁調査奨励事業

実施団体 中海海況研究会 代表者 松本克彦
赤貝を食う会 代表者 堀江顯三

(3) 第30回環境月間行事(6月1日~6月30日)

ア 環境作文の募集

環境作文の募集と表彰

市内小・中学生を対象に環境美化に関する作文を募集した。

入賞者数 金賞 小学生2人 中学生2人

銀 賞 " 2人 " 3人
 銅 賞 " 2人 " 3人

イ よなごし環境フェア 2003

テ ー マ 見直そう今までのくらし 考えようこれからのくらし

実 施 日 6月1日(日)

実施場所 米子市文化ホール、中海(サイエンスクルーズ)等

実施内容 講演会、紙すきコーナー、中海湖上観察会等の各種環境関係の催し

参加人数 述べ1,500人

(4) 中海湖上観察学習会

中海を船上から見ることにより、中海の汚濁状況を肌で感じてもらい、水質浄化対策の意識の高揚を図ることを目的として実施した。

実 施 日 8月7日(木)

参 加 者 小学生5,6年生 87人 引率教員 23人

講 師 太田富雄、渡部淳、田平敏雄、向井哲朗、安井大介

(5) 中海写真展

中海を身近なものとしてとらえ、その保全に向けて意識を高めることを目的として写真を募集し、『よなごし環境フェア2003』の一環として中海写真展を開催した。

出品者数 一般の部 50人 中学生の部 7人

出 品 数 一般の部 112点 中学生の部 8点

入賞者数 一般の部 最優秀賞 1点 優秀賞 2点 入選 13点

中学生の部 最優秀賞 1点 優秀賞 1点 入選 1点

(6) 米子市の花つつじ展示会について

期 間 5月24日~5月25日

開催場所 米子市公会堂1階会議室

出品鉢数 53鉢

入場者数 約350人

(7) 米子市環境美化活動奨励

環境美化活動の高揚を図るため、地球の環境美化に功労のあった団体又は個人(15件)に対し感謝状を贈呈した。

期日・場所 11月13日(水) 米子市研修センター402会議室

(8) 鳥取県を美しくする運動月間の実施

ア 期 間 9月1日~10月31日

イ 清掃活動

(ア) 奉仕活動実施団体数 2団体

(イ) 参加延べ人数 39,736人

(9) 環境パトロール車の運行状況

ア 運行内容

運 行 回 数	苦 情 調 査	油 流 出 事 故	その他(パトロール等)
432回	159回	18回	255回

(10) こどもエコクラブ

次世代を担う子どもたちが、地域において、主体的に環境学習及び環境保全活動に取り組み、将来にわたる環境の保全への高い意識を醸成することを支援するため、環境省が全国に「こどもエコクラブ」を発足させた。

市内参加クラブ 15クラブ(彦名小、福生東小、伯仙小、河崎小、義方小、尚徳中、加茂中、北斗中、家族参加のクラブ、公募制クラブ6クラブ)

関係行事 2003米子市こどもエコクラブ発足会&交流会

実施日 6月1日(日)

実施場所 米子市文化ホール

参加人数 109人

関係行事 親子ホテル観察会

実施日 6月9日(月) 10日(火)

実施場所 島根県大東町

参加人数 28人

関係行事 サマーエコクラブ in 日南邑

実施日 8月23日(土)~8月24日(日)

実施場所 日南町 ふるさと日南邑 ファームイン

参加人数 52人

関係行事 水鳥観察会

実施日 11月23日(土)

実施場所 米子水鳥公園

参加人数 96人

関係行事 米子市こどもエコクラブ発表会&交流会

実施日 2月8日(日)

実施場所 米子市児童文化センター

参加人数 75人

(11) 水生生物調査体験教室

水辺に触れ、体験することで、川に対する興味、関心度の向上を図ることを目的として実施した。

実施日 7月25日(金)

実施場所 日野川河口

参加者等 参加者...こどもエコクラブ会員 48人

サポーター 7人

主催...国土交通省日野川河川事務所、米子市(環境政策課)

(12) エコクッキング講習会の開催

環境にやさしい食生活、環境にやさしい料理方法を通じて環境のことを考えることを目的として実施した。

開催事業名	実施日	実施場所	参加人数	備考
・よなごし環境フェア2003 [エコクッキングコーナー]	6月1日(日)	米子市文化ホール	200人	

開催事業名	実施日	実施場所	参加人数	備考
・学校及び地域単位のこどもエコクラブ	9月8日(月)	福生東公民館	26人	
〃	9月12日(金)	河崎公民館	29人	
〃	9月28日(日)	彦名公民館	14人	
〃	10月10日(金)	住吉公民館	22人	
〃	10月21日(火)	義方公民館	13人	計5回

(13) 環境講演会の開催

テーマ 「コップの向こうに 水をめぐる環境問題と取り組みー」

講師 田中通雄(米子市水道事業管理者)

実施日 平成15年6月1日(日)

実施場所 米子市文化ホール

参加人数 130人

テーマ 「中海環境フォーラム -とりもどそう私たちの中海」

鳥取県主催、米子市共催事業として実施。

実施日 平成16年2月14日(土)

実施場所 米子市福祉保健総合センター

基調講演 諏訪湖における水質浄化への取り組み

講師；沖野外輝夫(早稲田大学教授)

参加人数 350人

(14) 第6回全国ゼロエミッション会議の開催

実施主体 鳥取県、鳥取県西部行政管理組合、地球ネットワーク会議、米子市で実行委員会を組織し実施。

目的 地球環境問題の解決に向け、資源循環型・自然共生型の地域を構築すると共に、地域の環境保全活動を全国に発信することを目的とする。

実施日 11月3日(月・祝日)

実施場所 米子コンベンションセンター国際会議場

内容 基調講演 加藤尚武 鳥取環境大学学長 「環境の次世代を担う人材育成」

地域の取組事例

「家庭から地域に広がるリサイクルの輪」

「子供たちのゼロエミッション活動」

パネルディスカッション 「ゼロエミッションを進める地域の連携」

9 中海の浄化対策

(1) 米子市中海水質保全推進委員会

ア 構成 委員長(助役)1人 委員(関係部長)8人 幹事(関係課長)20人

イ 委員会開催 2回

ウ 幹事会開催 1回

エ 委員会の報告及び資料配布

(2) 生活排水対策啓発パンフレットの配布

(3) 生活排水対策講習会の開催

8回開催 参加人員 延べ161人

(4) 合併処理浄化槽設置整備補助事業

5人槽 144基、 6～7人槽 69基、 8～10人槽 9基、 11～20人槽 6基
21～30人槽 2基、 31～50人槽 0基
計230基

10 生活排水対策の推進

(1) 生活排水対策推進指導員制度の実施

ア 指導員3人

イ 生活排水対策推進指導員名

赤井正子

山田悦子

渡部淳

(2) 生活排水対策推進計画の実施

米子市の生活排水対策重点地域（加茂川・旧加茂川、大沢川流域のうち下水道処理区域を除いた地域）における生活排水対策の推進を図るための基本計画を、平成5年に策定し、その計画に基づいて事業を継続実施した。

11 環境美化推進団体の育成

(1) 米子市環境をよくする会

ア 構成 36人（団体代表者）

イ 会長 平野昭二

ウ モデル町区指定 26町区（各校区より 1町区）

エ 各種団体の育成 5団体

オ 研修会の開催

(ア) 役員の先進都市視察研修（15.11.26）

島根県出雲市（出雲市における産業廃棄物の現状とクリーンパークいずもの施設見学）

(イ) 全町区環境委員等の研修会（16.2.14）

講演会 「諏訪湖における水質浄化への取り組み」

講師 沖野外輝夫（早稲田大学教授）

(ウ) 代表者研修会（16.2.16）

講演会 「淀江町の環境保全団体の現状と取り組みについて」

講師 本多勇三（淀江町町民課長）

(エ) 環境美化啓発について

環境美化啓発立看板の作製

カ 台所用ろ過袋の斡旋

取扱数量 20,529袋

キ 市内一斉清掃事業（春秋 2回）

4月20日(日) 参加人数 37,610人

10月5日(日) 参加人数 39,017人

(2) 加茂川を美しくする運動連絡協議会

ア 会長 山根喜八郎
イ 指導員 村上隆、鹿島恒勇、
安藤享、北川博康

ウ 一斉清掃(2回)

6月22日(日) 682人 10月26日(日) 719人

エ 花壇整備 花壇盛り土、花壇補修、つつじ補植

オ 研修

役員及び町区代表者の研修会を開催し、今後の美化活動のあり方等について研修した。

1.2 米子市市内グリーンオフィス活動

(1) 環境にやさしい米子市役所率先実行計画の策定

地球環境問題に代表される、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動や生活様式に起因する環境問題に対処するため、市は一事業者、一消費者としての立場で率先して環境に配慮した行動を示す必要がある。

市が、省エネルギー、省資源等の環境保全活動を実行することで環境への負荷を低減するとともに、市民及び事業者の自主的な取組を促進する目的で「環境にやさしい米子市役所率先実行計画」を策定した。なお、本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく実行計画を含んでいる。

計画期間 平成13年度～17年度

対象範囲 市のすべての機関が実施する事務事業

削減目標 温室効果ガス及び温室効果ガス排出に係るエネルギー等を8%削減

(2) 点検実施概要(平成15年度)

水道、下水道及び家庭ごみ収集事業等を除く取組実績

取組項目	実績	基準年比削減(増加)率	基準年	
温室効果ガス総排出量 (二酸化炭素換算量)	3,915 トン	7.3%削減	平成11年度	
主な排出源 の内訳	電気	4,999,905 kWh		2.8%増加
	水道	311,423 m ³		3.4%増加
	都市ガス	443,586 m ³		16.3%削減
	公用車用ガソリン	54,275 リットル		6.8%削減
印刷・コピー用紙購入量	69,618 kg	1.3%削減	平成12年度	
可燃ごみ	126,127 kg	12.4%削減		
不燃ごみ	22,389 kg	3.1%増加		

《 一般廃棄物の処理 》

1.3 分別収集の推進

平成9年度から実施した分別収集の定着を図るとともに、指定された方法での持ち出しについて啓発を行った。

(1) 関係諸団体等に対する説明会の実施

ア 説明会の実施

(ア) ごみの分別が不十分なため、分別方法等の説明会開催の要請があった自治会に対し、説明会を実施した。

(イ) 各種団体での研修会を行った。

(2) リサイクル推進協力員に対する研修会

ア 平成15年4月1日に委嘱した、リサイクル推進協力員に対し、新任研修会を行った。

(3) 「広報よなご」等による啓発

ア 「平成16年度 ごみ分別収集カレンダー」を作成し、各世帯に配付した。

イ 「広報よなご」によりごみの分別方法等について周知を図った。

(4) 分別に対する啓発

ア ごみ分別の徹底及び排出マナーの向上並びに収集作業時の安全性確保の面から、集積場にごみを持ち出す際に排出ルールの守られていないものについて、イエローシールを貼り付ける等の方法により、指導・啓発した。

イ 家庭系パソコンの回収・リサイクルの実施

平成15年10月1日から「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」の指定再資源化製品として家庭系使用済みパソコンが追加されることに伴い、その持ち出し方法及び処理方法の変更について啓発するチラシを作成し、全世帯に配付した。

ウ 家電リサイクル法施行令の一部改正

平成16年4月1日から電気冷蔵庫が「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の特定家庭用機器として追加されることに伴い、その持ち出し方法及び処理方法の変更について「ごみ分別収集カレンダー」により啓発を行った。

1.4 ごみ減量化の推進

より一層のごみの減量を目的として、啓発・指導を行った。

(1) リサイクルフェア・環境フェアにおいて、ごみの減量化・資源化の啓発を行った。

(2) ごみの種類により、排出方法の徹底を図った。

(3) ごみを多量に排出する事業所に対し、自己処理あるいは、直接処理施設に搬入するよう、指導した。

1.5 清掃指導及び廃棄物の特別処理

環境事業課と協力し、市内を定期的にパトロールするとともに、投棄者不明な不法投棄された廃棄物を処理した。

(1) パトロールの実施

パトロール車により、定期的に全市のパトロールを実施した。

(2) 不法投棄物処理

ア 海岸付近、山林等を重点的に、不法投棄者の調査を実施し、投棄者不明な不法投棄された廃棄物を処理した。

イ 長年にわたり、不法投棄されていた産業廃棄物等の一部を処理し、周辺地域の衛生及び美観の回復を行った。

ウ 家電リサイクル法の施行に伴い、収集対象外となった家電4品目（テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機）を処理した。

テレビ 167台、 エアコン33台、 冷蔵庫 20台、 洗濯機 13台

1.6 ごみの持ち出しステーション及び収集路線の調整

環境事業課と協力し、市内各地区のごみ持ち出しステーション及び収集路線について、調整を行った。

(1) ごみ持ち出しステーションの新設及び変更

	新 設	廃 止	移 動
ア 可燃物	13件	2件	8件
イ 不燃物及び資源物	12件	4件	5件
ウ 可燃物、不燃物及び資源物	86件	1件	22件
エ 資源物	0件	0件	0件

(2) 収集路線の調整

公共工事等に伴う路線変更 94件

1.7 特別収集

(1) 年末の特別収集

年末の休日に、可燃ごみの特別収集を実施した。

平成15年12月30日 火・金コース

(2) ハッピーマンデーの特別収集

ごみの収集コースごとの収集回数の不均衡を是正するため、海の日（7月の第3月曜日）、敬老の日（9月の第3月曜日）、体育の日（10月の第2月曜日）、成人の日（1月の第2月曜日）の4日間の月曜日（ハッピーマンデー）の特別収集を開始した。

ア 特別収集するごみの区分

- ・ 可燃ごみ
- ・ 缶・びん類及び発泡スチロール等

1.8 ごみ袋のあっせん及び協力店による販売

本市の推奨するごみ袋（1袋20枚入り）について、自治会を通じてあっせんするとともに、販売協力店により販売した。

(1) 販売数量

ア 有料あっせん 70,496袋
 イ 市内の百貨店・スーパー等の協力店による販売 130,335袋

1.9 米子市廃棄物減量等推進審議会への報告

「米子市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」第9条の2に基づく、一般廃棄物の減量及び適正な処理を図るための米子市廃棄物減量等推進審議会に対して、「平成15年度の取り組み状況」を報告した。

(1) 主たる報告事項

ア 家電リサイクル法施行令の一部改正に伴う対応について

イ 家庭用パソコンリサイクルの対応について

2 0 ごみ減量化及び資源化対策事業

(1) 資源ごみ回収運動推進事業奨励金交付事業

一般家庭等から排出される資源ごみの再利用を促進し、廃棄物の分別収集を目的として、資源ごみ回収運動推進団体の回収実績に応じて奨励金を交付した。

推進団体	回 収 量					奨 励 額	実施回数
	古紙類	空きびん類	空きびんケース類	金属類	その他		
7 5 団体	691,863kg	33,648本	621個	24,810kg	425kg	3,639,690円	237回
奨励単価	1kg当り 5円	1本当り 3円	1個当り 6円	1kg当り 3円	1kg当り 3円		

(2) 家庭用生ごみ処理容器購入費補助金交付事業

一般家庭から排出される、生ごみの自家処理を促進することにより、ごみの分別意識の向上及びごみの減量化を図るため、1家庭1基を限度として購入者に対して、補助金を交付した。

補 助 対 象 基 数	補 助 単 価	補 助 金 額
7基	3,000円	21,000円

2 1 一般廃棄物の収集運搬

環境事業課（直営）と委託業者により、一般家庭ごみの収集運搬を行った。

- (1) 可 燃 ご み 52,032,940kg
- (2) 不燃ごみ及び不燃性粗大ごみ 4,792,520kg
- (3) 発 泡 ス チ ロ ー ル 等 285,280kg
- (4) 資 源 ご み (缶 ・ び ん 類) 1,992,640kg
- (5) ペ ッ ト ボ ト ル 241,820kg
- (6) 再 利 用 び ん 96,950本
- (7) 古 紙 類 6,273,110kg
- (8) 有 害 ご み 68,331kg
- (9) 家 電 4 品 目 8,870kg

（リサイクルプラザに搬入されたもの。 エアコン 97台、テレビ 331台、冷蔵庫 154台、洗濯機 149台）

2 2 処理困難物等の処理

環境事業課と協力し、市道等に放置あるいは、一般家庭から米子市クリーンセンターに持ち込まれた動物の死体及び一般家庭から持ち込まれたガレキ等の処理を行った。

- (1) 動物死体 32件
- (2) ガレキ類 1.67トン

2 3 し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬実績

- (1) 環境事業課（直営）収集実績

市内16箇所の公衆便所のし尿を1台の車両で収集した。

稼働日数 38日 収集量 36,740

(2) 許可業者収集実績

直営収集以外のし尿及び浄化槽汚泥について収集した。

	し尿及び浄化槽汚泥収集車	浄化槽汚泥収集車	合計台数
(有)みつわ衛生社	6台	1台	7台
(有)米子清掃	5台	2台	7台
(有)いけまつ環境	2台	1台	3台
(有)かたぎや	2台	-	2台
(有)二宮清掃	3台	-	3台
(有)いづはら	3台	2台	5台
(有)富士衛生	2台	-	2台
計	23台	6台	29台

(3) し尿及び浄化槽汚泥投入量

施設名	投入量 (ℓ)			投入割合 (%)
	し尿	浄化槽汚泥	計	
米子浄化場	20,967,346	19,051,019	40,018,365	93%
白浜浄化場	2,065,946	969,713	3,035,659	7%
計	23,033,292	20,020,732	43,054,024	100%

2.4 公衆便所清掃

市内4箇所の公衆便所内の清掃業務を委託により実施した。

2.5 浄化槽の設置指導

「鳥取県浄化槽指導要綱」に基づき、社団法人鳥取県浄化槽協会から送付のあった浄化槽設置指導計画書について、放流先の状況等を把握するとともに設置後の維持管理等の指導を行い、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図った。

設置計画書受理件数 393件

2.6 産業廃棄物処理施設等の設置に伴う事前協議

「鳥取県産業廃棄物の処理に関する指導要綱」に基づき鳥取県から照会のあった産業廃棄物処理施設等の設置に伴う事前協議について、本市関係各課と意見調整し、関係法令に規定する必要手続き及び環境保全上の意見を鳥取県に回答した。

照会件数 6件